本機のしくみ.....2-2
本機のしくみと基本操作について..... 2-2
機能の呼び出しかた 2-3
タッチパネル.....2-4
タッチパネルについて..... 2-4
メニュー操作.....2-6
メインメニューの使いかた 2-6
基本的な機能だけを利用する
（シンプルメニュー）..... 2-9
スピンぐるメニュー.....2-10
スピンぐるメニューについて..... 2-10
スピンぐるメニューを利用する 2-11
機能呼び出し.....2-13
簡単な操作で機能を呼び出す..... 2-13
複数の機能を切り替えて利用する
（マルチジョブ機能）..... 2-14
待受画面に機能を登録して呼び出す
（デスクトップショートカット）..... 2-15
アイコン一覧から機能を呼び出す..... 2-16
ビューアポジション 2-17
ビューアポジション切替時の
動作を設定する..... 2-17
モーションコントロール.....2-18
モーションコントロールについて..... 2-18
誤動作防止 2-20
ボタンやタッチパネルの
誤動作を防止する..... 2-20
マナーについて 2-21
マナーモード／電波Offモード..... 2-21
その他の基本操作.....2-22
その他の基本操作..... 2-22
ダブルナンバー 2-23
ダブルナンバーを利用する..... 2-23
モードについて..... 2-24
便利な機能 2-26

2

基本操作

本機のしくみと基本操作について

本機の操作方法

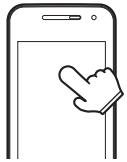
本機は、次の方法で操作を行うことができます。

ボタン操作

ボタンを押して操作する方法です。本機のすべての操作が行えます。

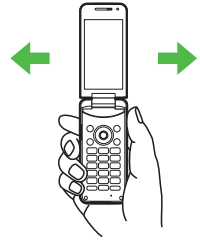
タッチパネル

画面内の項目やボタン（ソフトキーやマーク）に直接触れて操作する方法です。オープンポジション、ビューアポジションで操作できます。



モーションコントロール

本機を振ったり回転させて操作する方法です。機能を呼び出したり、文字や画像の拡大／縮小、コンテンツ選択などが行えます。（あらかじめ設定が必要です。）

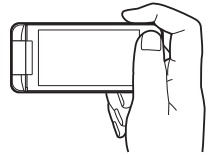


便利なビューアポジション

ビューアポジションを利用すると、本機をより便利に使用することができます。

■横持ちでデジタルカメラやテレビとして

サイドボタンをシャッターにして、デジタルカメラのような使いかたが可能です。テレビもワイドに楽しめます。



■コンパクトなタッチパネル専用機として

ほとんどの操作がタッチパネルで行えるので、直感的な操作が可能になります。

データの保存場所について

メモリカードを取り付けているとき、本機で撮影した静止画やダウンロードしたデータなどは、メモリカードに優先的に保存されます。（各機能の設定で変更することができます。）

- マイ絵文字、デコレメールテンプレートは本体に保存されます。
- メモリカードを取り付けていないときは、自動的に本体に保存されます。

機能の呼び出しかた

本機は、いろいろな方法で機能を呼び出すことができます。目的に応じて使い分けてください。

メインメニュー

項目を順に選択し、機能を呼び出します。

項目を順に選び、呼び出し

を長く押すと

登録機能を素早く呼び出し

スピングるメニュー

オススメやお気に入りの機能、履歴などが利用できます。

■ショートカット

あらかじめボタンなどに登録されている機能を呼び出します。(変更可能)

■デスクトップショートカット

よく利用する機能を待受画面やアイコン一覧に登録し、呼び出します。

■クイックオペレーション

入力した数字のケタ数に応じて利用できる機能が表示されます。機能を呼び出すときは、機能名の前のボタンを押します。

● 機能の利用中にショートカットで他の機能を呼び出し、切り替えて利用することもできます。

タッチパネルについて

本機はディスプレイ部がタッチパネルとなっているため、指で触れたりなぞったりして操作することができます。

●オープンポジションでもビューアポジションでも利用できます。（縦画面／横画面共）

タッチパネルの使いかた

タップ（選択／実行）

画面内の項目やボタン（ソフトキーやマーク）に軽く触れて、すぐに指を離します。

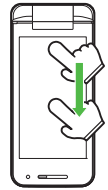
■ダブルタップ

すばやく（約0.6秒以内に）2回タップします。

ロングタッチ（メニュー表示など）

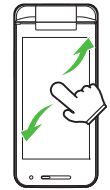
画面に触れたまま、しばらくそのままにしておきます。画面が切り替われば指を離します。

ドラッグ（移動／描画）



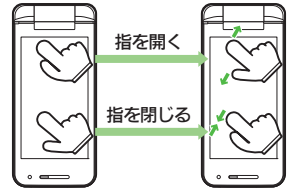
画面に触れたまま目的の場所まで移動して、指を離します。

フリック（画面の移動）



画面に触れて移動したい方向に軽く指をはじきます。

ピンチ（拡大／縮小）



２本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。

使いこなしチェック！

便利 ●画面をタップしたときに振動させたい●タッチパネルを無効にしたい（☞P.2-26）

タッチパネルでの操作例

項目を選択／決定（実行）する

目的の項目をタップすると、その項目が決定（実行）されます。

「データフォルダ」を決定（実行）

- ボタン操作で、「**項目を選び◉を押す**」ことと同じです。

■２回タップが必要なとき

メニュー操作が行えるときなどは、項目をタップすると、項目が選択された（反転している）状態になることがあります。このときは、選択した項目をもう一度タップすると、決定（実行）されます。

「ミュージック」を選択

「ミュージック」を決定（実行）

画面をスクロールする

移動したい方向にフリックすると、画面表示が移動し、隠れている部分が表示されます。

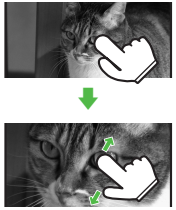
右へフリック

左側に隠れていた部分が表示

- リスト画面などでは、ドラッグしてもスクロールできます。

画像などを拡大／縮小する

ピンチで指を開くと拡大、指を閉じると縮小できます。



画像が拡大

- ダブルタップで拡大／縮小できることもあります。
- 情報画面や静止画撮影後にロングタッチすると、部分拡大が行えます。

メニューを表示する

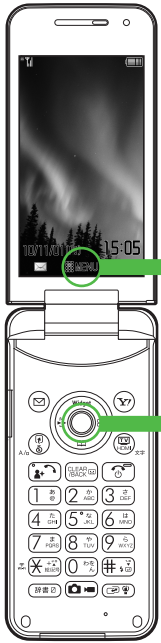
画面をロングタッチすると、その画面で利用できるメニューが表示されます。

タッチパネル利用時のご注意

- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
  - ■手袋をした指や爪先での操作
  - ■ペン、ボールペン、鉛筆など先の尖ったものでの操作
  - ■異物をタッチパネルに載せたままでの操作
  - ■水分が付着した状態での操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - ■濡れた指で操作しない
  - ■タッチパネルに水滴が付いている状態で操作しない
  - ■強く押し過ぎない
  - ■タッチパネルに、市販のシールなどを貼らない
- タッチパネルで思うように操作（ボタンや項目を選択）できないときは、タッチパネル補正（☞P.2-8）を行ってください。

メインメニューの使いかた

メインメニュー表示



■タッチパネル操作

■ボタン操作

メインメニューのしくみ

メインメニュー項目

次の機能やサービスが利用できます。

メール	メールを利用します。
Yahoo!	インターネットに接続します。
S!アプリ	ゲームなどのアプリを利用します。
ニュース／エンタメ	情報を入手したり、音楽／動画を再生します。
カメラ	静止画や動画を撮影します。
動画／音楽	動画／音楽サービスを利用します。
ツール	便利な機能を利用します。
データフォルダ	静止画などのデータを確認します。
ウィジェット	モバイルウィジェットを利用します。
TV	テレビを視聴します。
電話機能	電話関連の機能を利用します。
設定	いろいろな設定をします。

「**世界時計**」を表示することを例に、ボタンとタッチパネルのメニュー操作を説明します。
●タッチパネルの操作は、ビューアポジション時の画面を例にしています。

メニュー操作（ボタン）

待受画面で◉を押します。

メインメニュー表示

で「ツール」を選びます。

メインメニュー操作

で「時計・計測」タブを選びます。

タブ選択操作

で「世界時計」を選びます。

項目選択➡決定操作

メニュー操作（タッチパネル）

待受画面で「MENU」をタップします。

「ツール」をタップします。

「時計・計測」タブをタップします。

「世界時計」をタップします。

戻る操作（ボタン）

CLEAR/BACKを押します。

を押します。
（待受画面に戻ります。）

前の画面に戻る操作

待受画面に戻る操作

「CLEAR／BACK」をタップします。

「END」をタップします。

待受画面に戻ります。

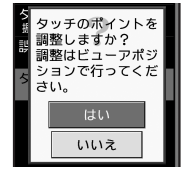
戻る操作（タッチパネル）

タッチパネルを補正する

タッチパネルで思うように操作（ボタンや項目を選択）できないときは、タッチパネル補正を行ってください。

- タッチパネル補正は、よくお使いになる姿勢や角度で行ってください。

1. ◉➡「設定」➡◉ ➡◉「本体・メモリカード」
2. 「タッチパネル設定」➡◉
3. 「タッチパネル補正」➡◉



4. 「はい」➡◉
   - 以降は、画面の指示に従って操作してください。

タッチパネル補正を元に戻すとき

- タッチパネル補正を行っても思うように操作できないときは、次の操作で補正を初期状態に戻すことができます。
  ❹のあとCLEAR/BACK

基本的な機能だけを利用する（シンプルメニュー）

シンプルメニューのはたらき

シンプルメニューに設定すると、基本的な機能だけが表示されるようになります。

- 画面に表示される文字が太くなり、文字サイズも「**大**」に設定されます。
- 時計／カレンダー表示が「**時計（大）**」に設定されます。

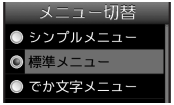
■シンプルメニューで使用できる機能

メール	受信ボックス、新規作成、下書き、デコレメールテンプレート、送信済みボックス、未送信ボックス、SMS新規作成
電話機能	電話帳、新規登録、通話履歴、簡易留守再生、簡易留守設定、留守番電話再生、オーナー情報、楽ともリンク、スピードダイヤル／メール
カメラ	静止画撮影、動画撮影、おまかせアルバム、バーコードリーダー、名刺読み取り、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ、画像レビュー
便利機能	カレンダー、プロフィール交換、アラーム、電卓、壁紙・音・イルミ、スマートリンク辞書、メモ帳、S! GPSナビ、歩数計、簡易方位計、S!ともだち状況、S!一斉トーク、ダブルナンバー設定、メニュー切替
データフォルダ	—
テレビ	—

- シンプルメニュー設定中は、待受画面でできるボタン操作が一部無効になります。

シンプルメニューを設定する

1 ◉➡「設定」➡◉➡音・表示設定画面で「メニュー切替」➡◉



2 「シンプルメニュー」➡◉

シンプルメニューで利用できない機能を使用しているとき
- 機能を終了させたあと、操作してください。

シンプルメニューを解除するとき
◉➡「便利機能」➡◉➡「メニュー切替」➡◉➡「標準メニュー」➡◉

スピンぐるメニューについて

スピンぐるメニューでできること

スピンぐるメニューは(R)を長く押すと表示されるメニューです。時刻や状況によって本機がオススメする機能や、よく使うお気に入りの機能、いろいろな履歴などを(◎)で選び、利用したり、確認することができます。

- 機能利用中にスピンぐるメニューを表示するときは、(R)を2回押します。機能の利用中にスピンぐるメニューを表示すると、そのとき使用できるメニュー項目も表示されます。
- 待受画面でタッチパネルを、円を描くようになぞっても表示／操作できます。
- ビューアポジション時は、「◎」が表示されているソフトキーをロングタッチしても表示されます。

スピンぐるメニューのしくみ

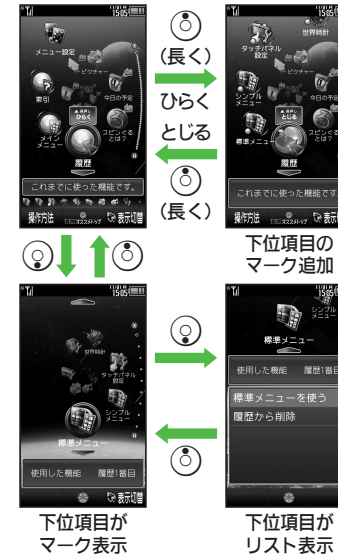
スピンぐるメニューは次のようなしくみになっています。(例:待受画面からの表示例)

- お気に入りは、本機を使い始めた翌日から表示されます。

- スピンぐるメニュー表示中に(✕)／(#)を押すと、左／右に7項目ずつ移動します。また(●)(長く)を押すと、スピンぐるメニュー起動時の選択項目に移動します。

■画面の切り替え

「▬」表示時に(◎)を押すと、下位項目やリスト画面が表示されます。「▲」表示時に(◎)を押すと、上の階層に戻ります。



スピンぐるメニューを利用する

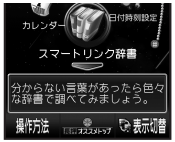
機能を利用する

オススメから利用する

1 Ⓢ（長く）

- スピンぐるメニューが表示されます。

2 ⊙利用する機能のマーク選択



3 ◉

- 選んだ機能の画面が表示されます。

選んだ機能をオススメしないようにするとき
②のあと◎➡「オススメから削除」➡◉➡「はい」➡◉

お気に入りや履歴から利用する

1 スピンぐるメニューで⊙「お気に入り」／「履歴」マーク選択

2 ◎

- 下位項目がマーク表示されます。

3 ⊙利用する機能のマーク選択

4 ◉

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

選んだ機能をお気に入りや履歴から削除するとき
③のあと◎➡「お気に入りから削除」／「履歴から削除」➡◉➡「はい」➡◉

メインメニューから利用する

1 スピンぐるメニューで⊙「メインメニュー」マーク選択

2 ◎

3 ⊙利用する機能のマーク選択➡◉

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

使いこなしチェック！

便利 ●お気に入りを並べ替えたい●お気に入りをすべて削除したい●履歴をすべて削除したい●削除したオススメを元に戻したい（☞P.2-26）

索引で機能を探して利用する

用語や目的の頭文字で機能を検索して、利用することができます。

1 スピンぐるメニューで ◎「索引」マーク選択

2 ◎

- 頭文字がマーク表示されます。

3 ◎利用する頭文字のマーク選択 ➡◎

4 ◎で機能選択➡◎

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

スピンぐるメニューのはたらきを設定する

スピンぐるメニューを初期化する操作を例に説明します。

1 スピンぐるメニューで ◎「メニュー設定」マーク選択

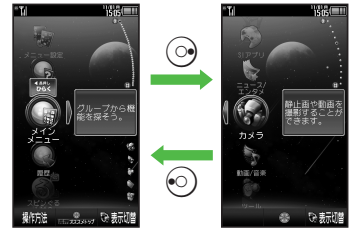
2 ◎

3「スピンぐるメニューを初期化する」➡◉

4「はい」➡◉

スピンぐるメニューの表示を変更する

スピンぐるメニューの画面で◎を押すたび、直線表示⇔らせん状表示に切り替わります。直線に並ぶように表示したとき、下位項目やリスト画面は◎で、上位項目は◎で表示します。



上位項目を表示　　下位項目やリスト画面を表示

スピンぐるメニューの操作方法を確認する

スピンぐるメニューの画面で✉を押すと、操作方法を確認することができます。

簡単な操作で機能を呼び出す

リストから選んで機能を呼び出す

あらかじめ登録されている機能のリストを表示して、そこから機能を呼び出します。（ショートカット）

1 ⓟ

2 利用する機能選択➡◉

- 選んだ機能の画面が表示されます。

ショートカットの機能を変更するとき

2で番号選択➡✉➡「機能登録」➡◉➡機能分類選択➡◉➡機能選択➡◉

- 機能分類を登録するときは、機能分類を選び✉を押します。

データやフォルダを登録するとき

2で番号選択➡✉➡「データ登録」➡◉➡データ／フォルダ選択➡◉

- フォルダを登録するときは、このあと「**このフォルダを設定**」を選び、◉を押します。

ボタンを長く押して機能を呼び出す

待受画面で✉、✥、Ⓨを長く押すと、あらかじめ登録されている次の機能を呼び出すことができます。（キーショートカット）

✉	S!メール作成画面表示
⓪	PCサイトブラウザメニュー表示
⓪	プロフィール交換画面表示
⓪	Bluetooth® On／Off
⓪	アイコン一覧表示（前回ページ）
Ⓨ	ブックマーク一覧表示

登録されている機能を変更する

⓪（長く）に電卓を登録する方法を例に説明します。

1 ◉➡「設定」➡◉➡⊙「本体・メモリカード」

2 「キーショートカット設定」➡◉➡「⓪長押し」➡◉

3 「通常アプリから登録」➡◉

4 「ツール」➡◉➡PIM・生活画面で「電卓」➡◉

ブックマークを登録するとき

3で「ブックマークから登録」➡◉➡ブックマーク選択➡◉➡「はい」➡◉

赤外線通信やシークレットモードなどのOn／Offを登録するとき

3で「その他から登録」➡◉➡機能選択➡◉

登録されている機能を解除するとき

3で「解除」➡◉

使いこなしチェック！

便利 ●ショートカットの割り当てを変更したい●ショートカットを初期化したい（☞P.2-26）

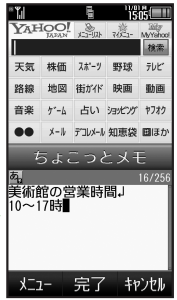
複数の機能を切り替えて利用する（マルチジョブ機能）

マルチジョブ機能のはたらき

ショートカットに登録されている機能を他の操作中に呼び出して利用できます。

インターネット利用中

②
切り替えて
利用可能



①
ちょこっと
メモを起動

気になる情報をメモ

- 一部の設定画面では、マルチジョブ機能が利用できないことがあります。
- 「🎮」（ゴールド）が表示されているときは、マルチジョブ機能が利用できません。

マルチジョブ機能を利用する

1 操作中に(P)

文字入力画面や電話番号入力（ダイヤル）画面では、(P)を長く押します。

2 機能選択➡(●)

- 選んだ機能の画面が表示されます。

3 機能を切り替えるとき(P)

4 (☎)➡マルチジョブ機能終了

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

待受画面に機能を登録して呼び出す（デスクトップショートカット）

待受画面に機能やデータのアイコンを貼り付け、アイコンを選ぶだけで目的の機能やデータを呼び出せる機能です。

待受画面に機能やデータを登録する

1 ⏲➡✉➡「貼り付け」➡◉

2 登録する機能やデータ選択➡◉

- アイコンが表示されます。
- 「>>」は、下の階層にさらに機能などがあることを示しています。

3 表示したい位置に✥でアイコン移動➡◉

- 機能やデータが登録されます。

機能やデータの画面から登録するとき

- サブメニューに「ショートカットを貼る」と表示される機能やデータでは、次の操作を行うと待受画面に登録できます。
  サブメニューの画面で「ショートカットを貼る」➡◉➡「待受画面」➡◉

機能やデータを利用する

1 ⏲➡✥でアイコン選択➡◉

- 機能やデータが起動（実行）されます。

ロックを一時的に解除するとき

⏲➡「🔒」➡◉➡操作用暗証番号入力➡◉

機能やデータを解除する（待受画面からはがす）

1 ⏲➡✥でアイコン選択➡✉

2 「はがす」➡◉

使いこなしチェック！

便利 ●アイコンを整列したい●アイコンの表示位置を変更したい●アイコンを前面／背面に移動したい●アイコンをまとめて解除したい●アイコンをロックしたい（☞P.2-26）

アイコン一覧から機能を呼び出す

機能やデータ、モバイルウィジェットをアイコン一覧に登録しておけば、簡単な操作で呼び出すことができます。

アイコン一覧に機能などを登録する

- 最大件数まで登録されているページのときは、あらかじめアイコンの登録を解除してから操作してください。
- インストールしたモバイルウィジェットは、自動的に登録されます。

1 ◎

アイコン一覧画面

- ⓨ／ⓜを押すと、次／前のページに切り替わります。（「**ページ1**」でⓜを押すと、待受画面が表示されます。）

2 「OPEN」➡◉

3 ◎タブ選択
➡登録する機能など選択➡◉

- アイコンが表示されます。
- 「>>」は、下の階層にさらに機能などがあることを示しています。

4 表示したい位置に◎で移動
➡◉

- 機能などが登録されます。

機能やデータの画面から登録するとき

- サブメニューに「**ショートカットを貼る**」と表示される機能やデータでは、次の操作を行うとアイコン一覧に登録できます。
  サブメニューの画面で「ショートカットを貼る」➡◉➡ページ選択➡◉➡表示位置選択➡◉

アイコン一覧が5ページ以上あるとき

- ❶のあと、確認画面が表示されます。「**はい**」または「**いいえ**」を選び、◉を押します。
  - 確認画面表示中にⓜを押すと、以降の確認画面の表示を設定できます。

機能などを利用する

1 アイコン一覧画面で
アイコン選択➡◉

- ⓨ／ⓜを押すと、次／前のページに切り替わります。（「**ページ1**」でⓜを押すと、待受画面が表示されます。）

前回表示したページを表示するとき
◎（長く）

アイコン非表示を一時的に解除するとき
【アイコン一覧画面】「🔒」➡◉➡操作用暗証番号入力➡◉

アイコンの登録を解除する

1 アイコン一覧画面で
アイコン選択➡ⓜ（長く）

2 「解除」➡◉

使いこなしチェック！

便利 ●アイコンを移動したい●アイコンをまとめて解除したい●ページ名を変更したい●アイコンを非表示にしたい　ほか（☞P.2-27）

ビューアポジション切替時の動作を設定する

はじめてビューアポジションにしたときは、次の画面が表示され、ビューアポジション切替時の動作を設定できます。

ビューアポジション設定画面

■設定できる項目

HDビデオカメラ	ビデオカメラを起動
カメラ起動	カメラを起動
デジタルTV起動	テレビを起動
メインメニュー	メインメニューを表示
登録アプリ起動	登録した機能を起動
登録ブックマーク接続	登録したブックマークに接続
Off（待受）	待受画面を表示

起動する機能などを設定する

❶ ビューアポジション設定画面でメニュー／機能をタップ

- 設定が完了すると、以降もビューアポジション設定画面を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

❷「はい」／「いいえ」をタップ

- 選んだメニューが表示または機能が実行されます。

「カメラ起動」を選んだとき

- 静止画撮影画面表示時、撮影環境によっては、モバイルライトが自動的に点灯することがあります。点灯しないようにするときは、次の順に項目をタップします。
  【静止画撮影画面】「メニュー」をタップ➡「モバイルライト」を2回タップ➡「Off」を2回タップ

「登録アプリ起動」／「登録ブックマーク接続」を選んだとき

- あらかじめ登録されている機能やブックマークが動作します。ご自分で変更することもできます。

待受画面から操作するとき

◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「ビューアポジション設定」➡◉➡「動作設定」➡◉➡メニュー／機能選択➡◉

使いこなしチェック！

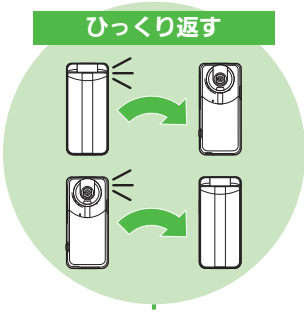
便利 ●ビューアポジション切替時の起動機能を変更したい●ビューアポジション切替時の接続ブックマークを変更したい（☞P.2-27）

モーションコントロールについて

本機には、傾きや動きを検出するモーションコントロールセンサーが搭載されています。本機を動かすことで、画面を切り替えたり、機能を呼び出すことができます。

- 誤動作防止が設定されているときや、画面が消灯しているときは利用できません。（クイックサイレントは利用できます。）
- はじめてモーションコントロールを利用するときは、必ず「**モーションコントロール補正**」（☞P.2-28）を行ってください。
- あらかじめ利用したい機能で、モーションコントロールが有効になるように設定しておく必要があります。

ひっくり返す



クイックサイレント

机などに置いているとき、着信中やアラーム動作中などにひっくり返すと音やバイブレータが停止します。

音停止
着信中
アラーム動作中など

バイブレータ停止
着信中
アラーム動作中など

- 音量が大きかったり、音の種類によっては、停止しないことがあります。

クイックショートカット

待受画面で左右に約３往復振ると、登録されている機能を呼び出せます。

- 呼び出す機能は変更できます。

電波サーチ
縦持ち
横持ち

左または右に振る

コンテンツ選択

左に振ると前のコンテンツ（音楽や画像など）、右に振ると次のコンテンツが選択できます。

音楽選択
ミュージックプレイヤー

番組選局
テレビ

画像選択
データフォルダ（ピクチャー）

ページ移動
ドキュメントビューア

マルチジョブ機能切替

２分割表示中に左右に振ると切り替えられます。

機能切替
２分割表示中

手前または奥に振る

拡大／縮小

手前に振ると拡大、奥に振ると縮小することができます。

文字拡大／縮小
Yahoo!ケータイ
メール

画像拡大／縮小
データフォルダ
（ピクチャー）

画面拡大／縮小
PCサイトブラウザ
ダイレクトブラウザ
ドキュメントビューア

モーションコントロール操作を有効にする

1. ◉➡「設定」➡◉
➡◎「本体・メモリカード」
2. 「モーションコントロール設定」➡◉

モーションコントロール設定画面

3. 「アクション設定」➡◉
4. 設定する動作選択➡◉
5. 「On」➡◉

クイックショートカットを有効にする

1. モーションコントロール設定画面で「クイックショートカット」➡◉
2. 「On／Off設定」➡◉
3. 「On」➡◉

シークレットモードの解除について

- 待受画面で次の操作を行うと、シークレットモードを一時的に解除できます。
  操作用暗証番号入力➡本機を左または右に振る
  - 待受画面を表示して、クローズポジションにすると、「**表示しない**」に戻ります。

モーションコントロール利用時のご注意

- 本機の振りかたや持ちかたによっては、正しく動作しないことがあります。（本機を平行移動させるように振ると、動作しやすくなります。）
- 音やバイブレータが鳴動しているときは、モーションコントロールが動作しないことがあります。
- モーションコントロール操作は、周りの安全を確認したうえで、本機をしっかりと握り、強く振りすぎないようにしてください。人や物にあたり、けがなどの事故の原因となったり、本機が故障／破損する原因となります。また、本機を強く振りすぎると、誤って本機を投げてしまったり、手首を痛める原因となります。

使いこなしチェック！

便利 ●画面の切り替え方法を変更したい●クイックショートカットの操作を変更したい●登録したクイックショートカットを削除したい●登録したクイックショートカットをリセットしたい●モーションコントロール操作を練習したい●モーションコントロールを補正したい（☞P.2-28）

ボタンやタッチパネルの誤動作を防止する

誤動作防止を設定する

ビューアポジション時に誤ってボタンやタッチパネルが動作しないよう、ロックすることができます。

1 ビューアポジションで

- 画面が消灯し、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止を設定すると

- ボタンやタッチパネルがロックされ、動作しないようになります。

誤動作防止を解除する

誤動作防止は、ビューアポジションからオープンポジションにすると解除されます。ビューアポジションのまま解除するときは、次の操作を行います。

1

- 画面が点灯します。

2

- 誤動作防止が解除されます。
- 「**▼ロック解除**」部分を上からなぞっても解除できます。

ビューアポジション時の自動設定について

- ビューアポジションでは、何も操作せずそのままにしておくと、自動的に画面が消灯し誤動作防止が設定されます。このときも上記の操作で解除できます。

使いこなしチェック！

便利 ●パネル点灯と同時に誤動作防止を解除したい●誤動作防止の解除方法を変更したい（☞P.2-28）

マナーモード／電波Offモード

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の人たちの迷惑にならないように気をつけましょう。
- 電車やバスなどの交通機関では、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモードを利用する

着信があったりアラームが動作しても、本機から音が出ないようにします。

1 **（長く）**

- マナーモードが設定されます。

マナーモードを設定すると

- 着信音などの音量が「**サイレント**」になります。
- 着信時などにバイブレータが動作するようになります。
- カメラ撮影時のシャッター音は、設定にかかわらず常に一定の音量で鳴ります。
- 音楽再生など、一時的に音を出すときは、次の操作を行います。
  再生中に➡◉➡「はい」／「いいえ」➡◉➡音量調節

マナーモードを解除するとき

マナーモード設定中に（長く）

電波Offモードを利用する

電源は入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

- 電波の送受信を停止すると、電話の発着信、メールの送受信、インターネット接続など、電波をやりとりする機能が利用できなくなります。

1 **◉➡「設定」➡◉➡「ネットワーク」**

2 **「電波Offモード」➡◉**

3 **「電波Offする」➡◉**

- 電波Offモードが設定されます。

電波Offモードを解除するとき

③で「電波Offしない」➡◉

使いこなしチェック！

便利 ●マナーモードの設定を変更したい●オリジナルのモードを作成したい●モードの設定を初期化したい●マナーモード設定中に音声を出力するとき確認画面を表示しない（☞P.2-28）

その他の基本操作

のぞき見を防止する（ベールビュー）

周りから画面表示をのぞかれにくくします。

1 辞書 **（長く）**

- ベールビューが設定されます。

ベールビューを解除するとき
ベールビュー設定中に辞書（長く）

電話番号を確認する

1 ◉➡0

- お客様の電話番号と、はじめて電源を入れたときに入力した名前（オーナー情報）が表示されます。

オーナー情報を編集するとき
1のあと◎タブ選択➡項目選択➡Ⓨ➡編集項目選択➡◉➡内容編集➡Ⓨ

懐中電灯（スポットライト）として利用する

1 クローズポジションで ▲（長く）

- モバイルライトが点灯します。

2 いずれかのサイドボタン➡消灯

スポットライト利用時のご注意
- スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご利用ください。

電池残量の詳細を表示する

1 ◉➡「ツール」➡◉➡◎「時計・計測」

2「バッテリーメーター」➡◉

- 電池残量が表示されます。
- 電池残量表示は、あくまでも目安です。

電池残量表示について
- 本機は、電池パックの性能劣化を軽減するように、充電を制御しています。そのため充電が完了しても、電池残量表示は「100%」にならないことがあります。

操作方法を確認する

操作がわからなくなったときに、ガイド機能を表示できます。

1 ◉➡「ツール」➡◉➡◎「文書・録音」

2「ガイド機能」➡◉

3 確認項目選択➡◉

「**マークの見かた**」を選んだときは、このあと確認するマークの種類を選び◉を押します。また、「**スピンぐるとは?**」を選んだときは、確認する項目を選び◉を押します。

使いこなしチェック！

便利 ●ベールビューの設定を変更したい●オーナー情報をリセットしたい●オーナー情報送信時の送信項目を設定したい●デュアルモード時に別回線のオーナー情報を確認したい●電池残量表示を変更したい（☞P.2-29）

ダブルナンバーを利用する

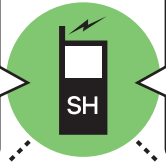
1台の携帯電話で、2つの回線（A回線／B回線：それぞれ別の電話番号とメールアドレス）を利用できるサービスです。

- ダブルナンバーの利用には、別途お申し込みが必要です。（有料）
- 海外利用時、B回線でのSMS／S!メール送受信は、A回線に課金されます。
- ダブルナンバーについて詳しくは、「ソフトバンクモバイルホームページ」（☞P.17-24）を参照してください。

2つの電話番号とメールアドレスが利用可能

A回線

電話番号A
090392XXXX7
メールアドレスA
○○○@softbank.ne.jp



B回線

電話番号B
090392XXXX8
メールアドレスB
△△△@softbank.ne.jp

目的に応じて利用モードを変更

どちらか一方の回線だけを利用※したり、2つの回線を同時に利用することができます。

- Aモード（A回線専用）
- Bモード（B回線専用）
- デュアルモード（2回線利用）

※利用していない回線への着信は、話し中になります。メールは通知なしで受信します。

電話／メール情報を個別に管理

履歴などの情報は回線別に管理。一方の回線だけを利用しているときは、もう一方の情報は見えなくなります。

- 電話帳
- 発着信履歴
- メールボックス

●回線別に壁紙や着信画面、着信音／バイブレータなどを設定することもできます。

ダブルナンバーを有効にする

●圏外のときは、設定できません。

1. ◉➡「設定」➡◉ ➡◉「本体・メモリカード」
2. 「ダブルナンバー設定」➡◉
3. 「On／Off設定」➡◉
4. 「On」➡◉
5. 「はい」➡◉

ダブルナンバーを無効にするとき
④で「Off」➡◉➡⑤

- ダブルナンバーを無効にしたときは、次の点にご注意ください。
  - B回線への電話着信／SMS受信は、A回線への着信／受信として扱われます。
  - B回線へのS!メールは、先頭部分だけ受信できます。（続き受信はできません。）
  - 「Off」にしても、ダブルナンバー契約は解除されません。

モードについて

どちらか一方の回線だけを利用する「**Aモード**」／「**Bモード**」と、２つの回線を同時に利用できる「**デュアルモード**」があります。

Aモード　A回線への着信だけを受けたいとき

●発信／送信はA回線が使用されます。B回線の電話番号やメールアドレスでの発信／送信はできません。

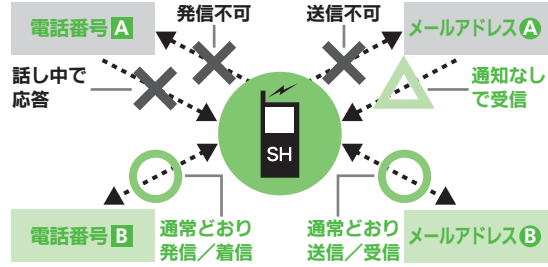
Aモード／Bモード設定時のご注意

●電話帳やメールボックス、発着信履歴などでは、利用していない回線での情報は表示されません。また、回線の種類を示すマークも表示されません。

●操作によって、利用していない回線での情報（表示されていない情報）に影響があるときは、確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Bモード　B回線への着信だけを受けたいとき

●発信／送信はB回線が使用されます。A回線の電話番号やメールアドレスでの発信／送信はできません。



Bモードでは、次の利用が制限されます。

●インターネットは、A回線を使用します。（インターネット利用中の発着信は、B回線で行えます。）

●S!ともだち状況／S!一斉トークは、利用できません。（A回線に切り替えることもできません。）

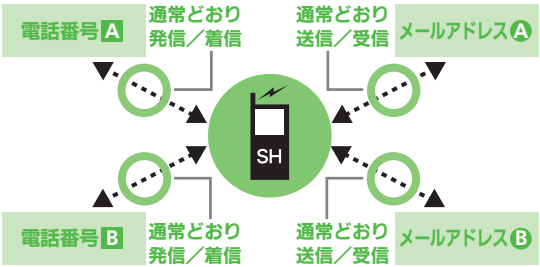
使いこなしチェック！

便利 ●モード名を変更したい●未使用モードの着信をマークで通知したい●パケット接続時に確認画面を表示しない（☞P.2-29）

デュアルモード

A回線／B回線のどちらからの着信も受けたいとき

●発信／送信時は、A回線（電話帳や履歴使用時には、情報内の回線）が優先的に使用されます。使用する回線を選んで発信／送信することもできます。



デュアルモードでは、目的に応じて回線を選択することもできます。

電話帳	メール送信	電話発信
A回線専用／B回線専用／両回線共用（デュアル）を設定できます。	送信時に選択した回線（A回線／B回線）によって、相手に届くメールアドレスが変わります。	発信時に選択した回線（A回線／B回線）によって、相手に届く発信者番号が変わります。

●電話帳やメール、履歴などに回線を表すマークが表示されます。

モードを切り替える

1. （長く）
2. モード選択➡◉
   ●「Bモード」を選んだときは、このあと確認画面が表示されます。
3. 「はい」➡◉

デュアルモードに設定したとき

操作によっては、次のような回線選択の画面が表示されます。利用する回線を選び◉を押してください。

また、回線ごとの設定や登録が行えるときは、画面右下に回線を示すソフトキーが表示されます。Ⓨを押し、回線を選んでください。

●上記以外にも回線を選ぶ操作が必要なときは、画面の指示に従って操作してください。

使いこなしチェック！

便利 ●回線を特定して着信を拒否したい●デュアルモード時の利用回線を設定したい（☞P.2-29）

タッチパネル

画面をタップしたときに振動させたい [タッチパネル反応設定]	共通操作 ●➡「設定」➡●➡「本体・メモリカード」➡「タッチパネル設定」➡●➡「タッチパネル反応設定」➡●➡下記の操作
	振動を有効にする 「振動する」➡●
	マナーモード中以外振動を有効にする 「振動する（マナーモード中以外）」➡●
タッチパネルを無効にしたい [On／Off設定]	●➡「設定」➡●➡「本体・メモリカード」➡「タッチパネル設定」➡●➡「On／Off設定」➡●➡「Off」➡●

スピンぐるメニュー

お気に入りを並べ替えたい [お気に入りを並べ替える]	スピンぐるメニュー表示➡「メニュー設定」マーク選択➡「お気に入りを並べ替える」➡●➡「はい」➡●
お気に入りをすべて削除したい [お気に入りをすべて削除する]	スピンぐるメニュー表示➡「メニュー設定」マーク選択➡「お気に入りをすべて削除する」➡●➡「はい」➡●
履歴をすべて削除したい [履歴をすべて削除する]	スピンぐるメニュー表示➡「メニュー設定」マーク選択➡「履歴をすべて削除する」➡●➡「はい」➡●
削除したオススメを元に戻したい [元に戻す]	共通操作 スピンぐるメニュー表示➡「メニュー設定」マーク選択➡下記の操作
	削除したオススメをすべて元に戻す 「削除したオススメをすべて元に戻す」➡●➡「はい」➡●
	削除したオススメを個別に元に戻す 元に戻す項目選択➡●➡「はい」➡●

ショートカット

ショートカットの割り当てを変更したい [移動]	番号選択➡✉➡「移動」➡●➡移動先選択➡●
ショートカットを初期化したい [設定リセット]	番号選択➡✉➡「設定リセット」➡●➡「はい」➡●

デスクトップショートカット

■待受画面での操作

アイコンを整列したい [アイコン整列]	➡✉➡「操作」➡●➡「アイコン整列」➡●➡整列方法選択➡● ●サイズによっては、ウィジェットも整列されることがあります。
アイコンの表示位置を変更したい [移動]	➡でアイコン選択➡✉➡「操作」➡●➡「移動」➡●➡表示位置変更➡●
アイコンを前面／背面に移動したい [前面へ／背面へ]	➡でアイコン選択➡✉➡「操作」➡●➡「前面へ」／「背面へ」➡●
アイコンをまとめて解除したい [はがす]	➡✉➡「一覧から操作」➡●➡「はがす」➡●➡「ショートカット」➡アイコン選択➡●（☑）➡アイコン指定完了➡Y➡「はい」➡●
アイコンをロックしたい [ロック設定]	➡✉➡「設定」➡●➡「ロック設定」➡●➡「On」➡● ●「Off」にするときは、操作用暗証番号の入力が必要です。

アイコン一覧

アイコンを移動したい ［移動］	◎➡✉（長く）➡「移動」➡●➡アイコン選択➡●➡移動場所選択➡●➡✉
待受画面に貼り付けたい ［待受画面に貼り付け］	◎➡ウィジェットのアイコン選択➡✉（長く）➡「待受画面に貼り付け」➡●➡表示位置選択➡● ●ウィジェットによっては、操作できないことがあります。
アイコンをまとめて解除したい ［選択して解除／すべてを解除］	共通操作 ◎➡✉（長く）➡「一覧から操作」➡●➡下記の操作
	複数選択して解除する 「選択して解除」➡●➡◎タブ選択➡アイコン選択➡●（☑）➡アイコン指定完了➡Y!➡「はい」➡●
	ページごと解除する 「すべてを解除」➡●➡ページ選択➡Y!➡「はい」➡●
ページを切り替えたい ［ページ切替］	◎➡Y!（長く）➡ページ選択➡●
ページごと移動したい ［ページ移動］	◎➡✉（長く）➡「ページ移動」➡●➡移動先選択➡●
ページを挿入したい ［ページ挿入］	◎➡✉（長く）➡「ページ挿入」➡●➡「前に挿入」／「後ろに挿入」➡●
ページ名を変更したい ［ページ名変更］	共通操作 ◎➡✉（長く）➡「設定・管理」➡●➡「ページ名変更」➡●➡下記の操作
	ページ名を変更する ページ選択➡●➡ページ名入力➡●
	ページ名をリセットする ✉➡「はい」➡●

アイコンを非表示にしたい ［アイコン非表示設定］	◎➡✉（長く）➡「設定・管理」➡●➡「アイコン非表示設定」➡●➡ページ選択➡●➡「On」➡● ●「Off」にするときは、操作用暗証番号の入力が必要です。
ウィジェットの詳細情報を確認したい ［プロパティ］	◎➡ウィジェットのアイコン選択➡✉（長く）➡「プロパティ」➡●
無効なアイコンを削除したい ［無効アイコンの解除］	◎➡✉（長く）➡「設定・管理」➡●➡「無効アイコンの解除」➡●➡「はい」➡●
◎を押したとき前回表示したページを表示したい ［◎キー設定］	⏱➡✉➡「設定」➡●➡「◎キー設定」➡●➡「前回表示ページ」➡●

ビューアポジション設定

ビューアポジション切替時の起動機能を変更したい ［登録アプリ設定］	●➡「設定」➡●➡◎「本体・メモリカード」➡「ビューアポジション設定」➡●➡「登録アプリ設定」➡●➡メニュー選択➡●➡登録する機能選択➡● ●動作設定を「登録アプリ起動」にしたときに有効となります。
ビューアポジション切替時の接続ブックマークを変更したい ［登録ブックマーク設定］	●➡「設定」➡●➡◎「本体・メモリカード」➡「ビューアポジション設定」➡●➡「登録ブックマーク設定」➡●➡ブックマーク選択➡●➡「はい」➡● ●動作設定を「登録ブックマーク接続」にしたときに有効となります。

モーションコントロール

画面の切り替え方法を変更したい ［縦横画面切替］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「モーションコントロール設定」➡◉➡「縦横画面切替」➡◉➡設定項目選択➡◉
クイックショートカットの操作を変更したい ［クイックショートカット登録］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「モーションコントロール設定」➡◉➡「クイックショートカット」➡◉➡「クイックショートカット登録」➡◉➡「縦持ち」／「横持ち」➡◉➡メニュー選択➡◉➡登録する機能選択➡◉ ●メニュー項目そのものを登録するときは、メニューを選択したあと、✉を押します。
登録したクイックショートカットを削除したい ［1件削除］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「モーションコントロール設定」➡◉➡「クイックショートカット」➡◉➡「クイックショートカット登録」➡◉➡「縦持ち」／「横持ち」➡✉➡「1件削除」➡◉➡「はい」➡◉
登録したクイックショートカットをリセットしたい ［設定リセット］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「モーションコントロール設定」➡◉➡「クイックショートカット」➡◉➡「クイックショートカット登録」➡◉➡✉➡「設定リセット」➡◉➡「はい」➡◉
モーションコントロール操作を練習したい ［アクション練習］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「モーションコントロール設定」➡◉➡「アクション練習」➡◉➡練習内容選択➡◉ ●以降は、画面の指示に従って操作してください。
モーションコントロールを補正したい ［モーションコントロール補正］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「モーションコントロール設定」➡◉➡「モーションコントロール補正」➡◉ ●以降は、画面の指示に従って操作してください。 ●補正するときは、金属性のものや磁気のあるものから離れて行ってください。また、電車内や自動車内では行わないでください。

誤動作防止

パネル点灯と同時に誤動作防止を解除したい ［ロックの設定］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「タッチパネル設定」➡◉➡「誤動作防止」➡◉➡「ロックの設定」➡◉➡「シンプルロック」➡◉
誤動作防止の解除方法を変更したい ［ロックの解除］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「タッチパネル設定」➡◉➡「誤動作防止」➡◉➡「ロックの解除」➡◉➡設定項目選択➡◉

マナーモード

マナーモードの設定を変更したい ［マナーモード設定］	共通操作 ◉➡「設定」➡◉➡音・表示設定画面で「マナーモード設定」➡◉➡下記の操作 **利用モードを変更する** モード選択➡◉ **各モードの設定内容を変更する** モード選択➡✉➡設定項目選択➡◉➡各設定項目の操作 ●「通常モード」では変更できません。 ●モードによっては、変更できない項目もあります。
オリジナルのモードを作成したい ［オリジナルモード］	◉➡「設定」➡◉➡音・表示設定画面で「マナーモード設定」➡◉➡「オリジナルモード」➡✉➡設定項目選択➡◉➡各設定項目の操作
モードの設定を初期化したい ［リセット］	◉➡「設定」➡◉➡音・表示設定画面で「マナーモード設定」➡◉➡モード選択➡Ⓨ➡「はい」➡◉
マナーモード設定中に音声を出力するとき確認画面を表示しない ［音声出力確認画面］	◉➡「設定」➡◉➡音・表示設定画面で「マナーモード設定」➡◉➡「マナーモード」➡✉➡「音声出力確認画面」➡◉➡「表示しない」➡◉

ベールビュー

ベールビューの設定を変更したい ［ベールビュー］	共通操作 ◉➡「設定」➡◉➡音・表示設定画面で「ディスプレイ設定」➡◉➡「ベールビュー」➡◉➡下記の操作
	パターンを変更する 「パターン設定」➡◉➡パターン選択➡◉
	パターンの大きさを変更する 「倍率設定」➡◉➡倍率選択➡◉ ● 設定しているパターンによっては、倍率を変更できないことがあります。
	濃度を変更する 「濃度設定」➡◉➡濃度選択➡◉ ●「濃度2」または「濃度3」を選んだときは、◉を押す前に◎を押すと、正面から見たときの見ばえ（濃度）を設定することができます。

オーナー情報

オーナー情報をリセットしたい ［オーナー情報リセット］	◉➡0➡✉➡「オーナー情報リセット」➡◉➡「はい」➡◉
オーナー情報送信時の送信項目を設定したい ［オーナー情報送信設定］	◉➡0➡✉➡「オーナー情報送信設定」➡◉➡項目選択➡◉（□／☑）➡項目指定完了➡Ⓨ
デュアルモード時に別回線のオーナー情報を確認したい ［Bへ切替／Aへ切替］	◉➡0➡✉➡「Bへ切替」／「Aへ切替」➡◉

電池残量表示

電池残量表示を変更したい ［ミニ電池表示］	◉➡「設定」➡◉➡音・表示設定画面で「ディスプレイ設定」➡◉➡「ミニ電池表示」➡◉➡表示形式選択➡◉ ● 表示される数値は、あくまでも目安です。

ダブルナンバー

■全般

モード名を変更したい ［回線名／アイコン編集］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「ダブルナンバー設定」➡◉➡「回線名／アイコン編集」➡◉➡モード選択➡◉➡回線名入力➡◉➡アイコン選択➡◉

■Aモード／Bモード

未使用モードの着信をマークで通知したい ［着信通知アイコン表示］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「ダブルナンバー設定」➡◉➡「着信通知アイコン表示」➡◉➡「表示する」➡◉
パケット接続時に確認画面を表示しない ［パケット接続確認］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「ダブルナンバー設定」➡◉➡「パケット接続確認」➡◉➡「Off」➡◉ ● Bモード設定時に有効です。

■デュアルモード

回線を特定して着信を拒否したい ［回線別着信拒否］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「ダブルナンバー設定」➡◉➡「回線別着信拒否」➡◉➡回線選択➡◉➡「拒否する」➡◉
デュアルモード時の利用回線を設定したい ［利用回線設定］	◉➡「設定」➡◉➡◎「本体・メモリカード」➡「ダブルナンバー設定」➡◉➡「利用回線設定」➡◉➡設定項目選択➡◉

MEMO